

野坂昭如の名作「火垂るの墓」が初の実写映画化
『^{ほた}火垂るの墓』のDVDを3月27日に発売
第63回毎日映画コンクール助演女優賞を松坂慶子が獲得
文部科学省選定・日本PTA全国協議会特別推薦

バンダイビジュアル株式会社

住所：東京都品川区東品川4-12-4 品川シーサイドパークタワー

社長：川城和実、資本金：21億8250万円

バンダイナムコグループのバンダイビジュアル株式会社は2008年7月より劇場公開された映画『火垂るの墓』のDVD（3,990円/税込）を2009年3月27日に発売します。販売ルートは全国の家電量販店、CDショップ、インターネットショップ等です。

■映画『火垂るの墓』

映画『火垂るの墓』は日本中が涙した感動の名作“火垂るの墓”を初めて実写映画化し、2008年7月に東京・岩波ホールで<岩波ホール創立40周年記念上映作品>としての上映を皮切りに全国70館以上で公開されました。原作の小説「アメリカひじき・火垂るの墓」（新潮文庫刊）は野坂昭如が自らの体験をもとに描いた戦争文学の名作で、第58回直木賞を受賞しています。本作は戦争の悲惨さを描き、強く平和を願い続けた故・黒木和雄監督（『父と暮せば』）の念願の企画を、その意志を継いだ日向寺太郎（『誰がために』）監督が完成させました。

■第63回毎日映画コンクール助演女優賞を松坂慶子が受賞！理想的キャスティングが実現

本作で兄・清太役は、注目の若手俳優・吉武伶朗（NHK朝の連続テレビ小説『すずらん』）、妹・節子役は若干6歳の畠山彩奈（映画『20世紀少年』）が演じており、原作のイメージ通りの演技を見せ、高い評価を得ました。兄妹に冷たく接する親戚の未亡人役を松坂慶子が好演、第63回毎日映画コンクールで助演女優賞を獲得しています。また日本映画7年ぶりの出演となる松田聖子が母・雪子を演じたほか、長門裕之、原田芳雄、池脇千鶴、江藤潤ら実力派俳優が脇を固めています。



(c) 2008「火垂るの墓」パートナーズ

■劇場公開&佐久間製菓100周年記念「サクマ式ドロップス」レトロ缶など関連商品も発売

本作が公開された2008年は劇中で象徴的に登場するサクマ式ドロップスの誕生100周年に当たります。これを記念し、食べ物・お菓子そして平和への感謝の気持ちを伝えるメッセージをこめ、劇中と同じサクマ式ドロップスのレトロ缶が佐久間製菓株式会社より発売されています。またスチール絵本（スターツ出版）、サウンドトラックCD（Music）など関連商品も発売中です。



<ストーリー>

終戦間近の神戸。清太と節子の兄妹は、空襲の中、家を焼け出され、病床の母も亡くす。父も出征し連絡が途絶え、路頭に迷った兄妹は、遠い親戚宅に身を寄せるが、お婆さんの冷たい仕打ちに耐えられず、ふたりは、その家を出て防空壕の中でまごごのような生活を始める。厳しい生活の中でも、蛍のかすかな光はふたりきりの兄妹に優しい光を投げかける。しかし、儚い蛍の命と同じく節子の命もまた蛍の光のように消えかかっている・・・。

<商品概要>

DVD『火垂るの墓』

発売日 : 2009年3月27日

希望小売価格 : 3,990円(税込)

収録時間 : 123分(本編100分+特典23分)

スペック : ドルビーデジタル(サラウンド) / 片面2層 / 16:9(スクイーズ) /
ビスタサイズ / 英語字幕付(ON・OFF可)

映像特典 : 1.メイキング映像
2.予告編・特報

※レンタルDVDは2009年4月15日にポニーキャニオンよりリリース



注 : DVDにサクマ式ドロップスは付属しません。

(c) 2008 「火垂るの墓」 パートナーズ

バンダイビジュアルURL :

<http://www.bandaivisual.co.jp>

『火垂るの墓』URL : <http://www.hotarunohaka.jp/>

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

バンダイビジュアル(株) 経営管理部
企業広報担当
山崎 倫また城塚(しろつか) 貴子まで
TEL 03-6720-1605
FAX 03-6720-1610

【商品に関するお問い合わせ先】

バンダイビジュアル(株)
お客様センターまで
TEL 03-5828-7582